



日本共産党 荒川区議会議員  
Japanese Communist Party

# 横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

9 18 2025年2月23日

日本共産党荒川区議会議員団

区役所控室 3802-4627

横山事務所

荒川区町屋5-3-5

&fax 3895-0504

定例法律相談

3月3日(月)

18時~20時

横山区議事務所

お気軽にご相談を

## 予算議会 レポート1

# いま平和の声を上げるとき… 暮らしこと人権を守る区政実現に全力



当初予算で過去最高1,319億円、前年比で100億円以上増えています。異常な物価高騰、実質賃金は24ヶ月連続マイナス、年金も実質マイナス、暮らしのが大変です。暮らしと命を守る予算編成に向けて、区民の目線・願いに寄り添い予算特別委員会にのぞみます。

## 26日から予算審議 区民の目線で論戦：

今年は戦後・被爆80年、昨年末には日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。荒川区も平和事業を推進することが求められたと思いますが、残念ながら「予算の重点項目」には、見当たりません。

日本共産党区議団は2月

## 戦後・被曝80年：非核都市宣言の制定と区として平和事業を積極的な取り組みを：

2月14日から始まった来年度予算案など審議する荒川区議会2月会議が始まりました。日本共産党区議団は、北村議員、小島議員、相馬議員がそれぞれ本会議で一般質問に立ちました。その内容などお知らせします。

家賃助成、高齢・障害者施設など支援を求める  
この中で、住宅困窮者への支援は緊急です。荒川区の区管住宅は高齢者单身用戸に対して申込は150人、

溝口区長は、施政方針演説で「物価高騰を踏まえた負担軽減」と述べました。しかし今回の予算案では、物価高騰対策は、極めて不十分です。

そのため、高齢者・障害者施設を対象に事業継続や人材確保での緊急支援や区の紙おむつ購入助成が必要な人が必要な枚数を使える制度の改善を求めました。住まいは人権・家賃助成の検討を行なわれたため、高齢者・障害者施設を対象に事業継続や人材確保での緊急支援や区の紙おむつ購入助成が必要な人が必要な枚数を使える制度の改善を求めました。

いまこそ暮らし、福祉を最優先した予算を

荒川区には、「平和都市宣言」はありますか。「非核」の言葉はありません。

14日の代表質問で、政府に核兵器禁止条約への参加を求めることが区としての取組みを求めました。

まず、「非核都市宣言」の制定を求めました。現在

広島長崎平和式典の中

高生の派遣・被爆者の声を直接聞くなど継続的な平和事業を取組むなどぜひ実施向けた声を上げていきたいと思います。

具体的な提案では…

ウイーン市との高校生相互派遣事業でマウトハウゼン強制収容所・東京大空襲資料センターへそれぞれ訪問するなど平和を育む

区民が行う原爆展や学習会

ど展示物移動費用など積極的な支援を行うこと

展、尾久初空襲平和学習会

互派遺事業でマウトハウゼン強制収容所・東京大空襲

資料センターへそれぞれ訪問するなど平和を育む

区民が行う原爆展や学習会

ど展示物移動費用など積極的な支援を行うこと

展、尾久初空襲平和学習会

互派遺事業でマウトハウゼン強制収容所・東京大空襲

資料センターへそれぞれ訪問するなど平和を育む

制度を予算化しました。3人以上の場合の家賃助成制度を検討を

荒川区でも富裕層向けのタワマン建設でなく、ひとり親・高齢者を始め、住宅困窮世帯への家賃補助を検討を

東京都は、新規都営住宅建設に背を向けています。こうした中、杉並区は、区管住宅に申し込んで落選したひとり親世帯で子ども3人以上の場合の家賃助成制度を予算化しました。

シルバー委託の「放置自転車対策業務」が打ち切り！  
まつた話題あれこれ

## 町屋さくら復活・移動の自由保障を考える…(48) 町屋さくら復活などの陳情…自公などで不採択！

2月19日の本会議で町屋さくら復活などを求める陳情2件が採決されました。日本共産党区議団は、相馬ゆうこ議員が採択を主張する討論を行いました。コミバス廃止の代替えも無い中で「復活を求める」のは、当然のことです。また、陳情の項目でもある、利用者実態調査の実施、コミバスなど地域公共交通で移動の自由を保障することは区の責務であることなど明らかにしました。しかし、採決では、自民、公明、ゆいの会などが採択に反対し、不採択となりました。採択に賛成したのは、日本共産党区議団と立憲民主党でした。歳を重ねても、障害を持っていても、社会参加、文化芸術にも触れることができ、医療や福祉などの施設へのアクセスできる、そんな地域公共交通の整備を粘り強く求めていきます。

裏面 「区内に交通不便地域は無い」(区)は本当か?など



高騰の中、打撃はさらに大きいです。元気で暮らせるために、年金引き上げと高齢者の仕事づくり支援は重要な課題だと感じます。  
横山幸次



都のコミバス補助は半径200m以遠が対象ですが  
「区内に交通不便地域は無い」…区の主張を検証

旧町屋さくら路線沿線…○内がバス停・鉄道駅から半径200m以遠が交通空白地域



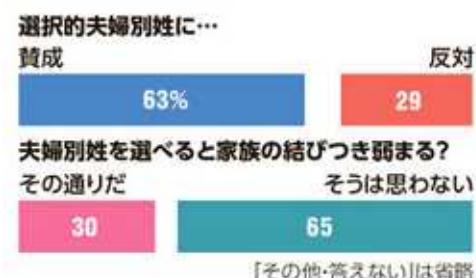
日本共産党都議団の提言（抜粋）  
交通不便地域をなくすコミュニティバス  
もっと増やしもっと便利に

都の運行費補助は、運行開始から3年限りです。その後は不採算路線でも都の財政支援はありません。コミュニティバスをもっと増やすために、都の運行費補助の3年限りという年限を撤廃または延長します。

都の補助制度は、既存バス停や鉄道駅から半径200㍍以遠の地域を走行すること等の「交通空白地域」の要件があるため、23区の路線の多くは都の補助を受けることができず、区単独事業として実施されています。「交通空白地域」などの補助要件を、駅やバス停からの距離だけでなく、高齢者をはじめ都民の生活実態を踏まえて大幅に緩和します。

今週の  
データ 選択的夫婦別姓…(朝日調査)  
賛成63%反対29%…国民の声は明白

世論調査で、「賛否を聞いたところの29%を上回り、ぼなく、年代別反対16%など、も賛成が大きくな一方、70歳以上では47%対42%と賛否が割合で59%、無党派層で67%だった。内閣支持層では63%です。選択的夫婦別姓の実現へ政治を動かすときです。



町屋さくら沿線の高齢化率は全区平均を大きく上回る半径200m以遠だと約半分が交通不便地域に該当する。今回の本会議質問でも地域公共交通計画の策定などを求めましたが、「区は」「地形が平坦」「交通機関が整備」され交通不便地域が基本的に無いとして「必要性が高くなかった」と消極的な答弁を繰り返しました。

実際はどうなのか?検証してみたいと思います。

第一に、東京都が「ミバ

ス補助の条件としている

「交通空白地域」であるがら沿線を見ていきます。左の地図の内が半径200m以遠を基準に町屋さくら沿線を見てきます。左の地図の内が半径200m。町屋5丁目、1丁目では、都営住宅と主要な大型マンションはすべて200m以遠です。特養ホーミ

ムや障害者施設も以遠。台東区、墨田区など近隣区では、半径200m以遠を「ミバ

ニティバスの運行  
ています。  
第一に、やはり  
で無く日本共産党  
提案しているよつ  
者などの生活実態  
るべきです。ちな  
1月の高齢者の割  
と、全区が21%台  
ですが、町屋さく  
ら沿線地域は平均  
で26%台と5ポイ  
ントもあくなつて  
います。(下表)  
もう一つは、公

町屋さくら沿線の丁目別高齢者人口 (今年1月1日現在)			
	全人口	65歳以上	高齢化率
町屋5丁目	4,165	978	23.48%
町屋6丁目	3,653	1,251	27.01%
町屋7丁目	3,653	995	27.23%
町屋8丁目	3,082	736	23.88%
町屋1丁目	3,742	823	22.12%
上記の合計	18,295	4,783	26.14%
荒川区全体	222,278	48,823	21.96%

二、トイバスの運行対象にしています。

共施設や小売店などへのアクセスです。この地域は、買い物不便地域であり、区民事務所や区役所に行くにも不便です。

あらBOSA | 2025

とき 3月2日(日曜)午前10時から午後2時まで  
会場 東尾久運動場多目的広場(東尾久7-1-1)

ブース出展内容

## 「知る・見る・体験する」 感震ブレーカー展示 大規模地震時の通電火 災を防ぐ感震ブレーカー の紹介展示

Nゲージへの給電実演  
展示している電気自動車  
からNゲージへ給電  
災害時給水ステーション、キッチンカー

